

登録No. U-009
 登録名 GC療法
 催吐性リスク 高度
 適応疾患 尿路上皮癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	デキサメタゾン 生食	6.6mg/body 50mL/body		d1・8・15	d.i.v.	30min	
Rp.2	ゲムシタピン 5%ブドウ糖液	1000mg/m ² 100mL/body		d1・8・15	d.i.v.	30min	
Rp.3	生食	500mL/body		d2	d.i.v.	2hr	
Rp.4	パロノセトロンバッグ デキサメタゾン	50mL/body 9.9mg/body		d2	d.i.v.	30min	アプレピタント併用
Rp.5	マンニトール	300mL/body		d2	d.i.v.	30min	必要に応じて投与
Rp.6	シスプラチン 生食	70mg/m ² 500mL/body		d2	d.i.v.	2hr	
Rp.7	マンニトール	300mL/body		d2	d.i.v.	30min	必要に応じて投与
Rp.8	生食	500mL/body		d2	d.i.v.	2hr	
Rp.9	アクチット	500mL/body		d2	d.i.v.	2hr	
Rp.10	生食	500mL/body		d3・4	d.i.v.	2hr	
Rp.11	アクチット	500mL/body		d3	d.i.v.	2hr	
Rp.12	生食	500mL/body		d3・4	d.i.v.	2hr	

1クールの間 4週間
 その他（副作用・PS規定等）

d2よりアプレピタント内服
 2コース毎に評価。
 副作用：血小板減少・白血球減少・倦怠感・悪心・便秘・脱毛
 中止基準：WBC2000未満または血小板7万未満の場合は骨髓機能回復するまで延期。
 CCr50～59のときシスプラチンは2日間以上に分割して100%DOSE投与。
 CCr50未満のときシスプラチン休薬
 KPS70以上で適用。